

# 大阪大谷大学 教職教育センター紀要

## 第 3 号

---

大阪大谷大学教職教育センター紀要第3号発刊にあたって	仲野 務… 1
<b>〈論文〉</b>	
教員養成課程の授業および現職教員研修における 教育方法に関する一考察 ——カナダ・オンタリオ州の教師教育を手掛かりにして——	森本 洋介… 3
算数科における活用を視点とした授業改善 ——数学言語構成からの実践的アプローチ——	岡部 恭幸… 22
<b>〈研究ノート〉</b>	
タニスバとタニスボ「英語」実践報告：3年目の現状と将来の展望	高村 博正… 31 峯山美智子 裏 順子
学校ボランティア・学校インターンシップの学習効果	岡崎 裕子… 47
<b>〈事業報告〉</b>	
平成23年度「大阪大谷大学教職教育センター」事業報告	仲野 務… 53 峯山美智子 川合 智子
平成23年度「教職教育センター行事」について	岡崎由紀美… 63
「実践アクセス講座」（公開授業）に取り組んで	徳田喜代士… 81
教師のお仕事入門（小学校・中学校・高等学校体験）	宇野 佳子… 87

---

2012年3月

大阪大谷大学教職教育センター

# Osaka Ohtani University Teacher Training Support Center Bulletin

## Volume 3

---

Message from the Center Director	Tsutomu Nakano	1
<b>《Articles》</b>		
An Examination about Teaching Method in Pre-service Teacher Training and In-service Teacher Training : Focusing on Teacher Education in Ontario	Yosuke Morimoto	3
A Study of Application-focused Improvement of Mathematics Education in Elementary School from the Perspective of Mathematics Language Formation	Yasuyuki Okabe	22
<b>《Research notes》</b>		
Report on the Ohtani's Teacher Training Support System "English" in its 3 <sup>rd</sup> . Year	Hiromasa Takamura Michiko Mineyama Junko Ura	31
Learning Effect on School Volunteer Activity and School Internship	Yuko Okazaki	47
<b>《Activity Reports》</b>		
Overview of Teacher Training Support Center Activities in 2011	Tsutomu Nakano Michiko Mineyama Tomoko Kawai	53
Detailed Report on Teacher Training Support Center Activities in 2011	Yukimi Okazaki	63
Report of a course taught by practicing teachers for the cultivation 2011	Kiyoshi Tokuda	81
Report on School-Based Hands-on Courses for Intending Teachers of Elementary, Junior and Senior High Schools	Yoshiko Uno	87

---

Teacher Training Support Center  
Osaka Ohtani University

## 【事業報告】

平成 23 年度

# 「大阪大谷大学教職教育センター」事業報告

仲野 務\*・峯山美智子\*\*・川合 智子\*\*\*

## I. はじめに

3年目を迎えた大阪大谷大学教職教育センター（以下「センター」という）は、全学的なセンターとして、入学から卒業までを一貫して、教職をめざす学生を対象に、履修相談や就職活動をサポートしている。

教職課程を有する学科は、文学部の日本語日本文学科、英米語学科、文化財学科と、教育福祉学部教育福祉学科、人間社会学部人間社会学科の合計5学科であり、多数の学生が教員免許状取得をめざしている。センターでは、教員免許状の取得にとどまらず、教員採用試験の先にある目標に向かっていてる学生を応援し、教職に係る就職支援を担うことに教職員一同責任を感じ、優秀な人材を一人でも多く教育現場に送り出すことを、今後も目標としたいと考えている。

## II. 平成 23 年度

### 1. 教職課程の転換期

本学の教職課程を遡ると、昭和42年に中学校教諭1級普通免許状（「国語」「英語」）、高等学校2級普通免許状（「国語」「英語」）の課程認定を受け、さらに昭和45年に幼稚園教諭1級普通免許状、昭和46年に小学校教諭1級免許状、昭和63年には、養護学校教諭2級普通免許状の認可を受け、現在の教職課程を築き、それ以来45年の歴史を有することになる。本学の建学の精神である「報恩感謝」は、教育現場においても重要な精神であると考え、感謝の心で接し合うことができるような人間関係を築くことにより、教育社会に貢献できる人材を多く輩出し続けてきた。

---

\*大阪大谷大学教職教育センター長

\*\*大阪大谷大学教職支援課長

\*\*\*大阪大谷大学教職支援係長

さらに平成 24 年度からは、人間社会学部は人間社会学科のほかに、スポーツ健康学科を加えた 2 学科となり、教育福祉学部教育福祉学科が教育学部教育学科となる。本学の教職課程がより大きく変革する時期を迎えることとなる。

教職教育センターの目的は、本学の教育職員養成課程運営の拠点となり、学生指導、教職課程履修指導、教育実習指導および教員採用試験対策等を含めた教職指導の充実を図り、教員養成の向上に努めることにあることを今後も努力したい。

## 2. 組織および配置

平成 23 年度の教員、職員の配置は次のとおりである。

教員：センター長（兼務）	1 名
センター教員（兼務）	3 名
教職教育担当特任教授	2 名

職員：教職支援課 課長 1 名、係長 1 名、課員 1 名

派遣職員 2 名（合計：専任 3 名、派遣 2 名）

センター長は、センター教員から学長により任命され、センターを統括しセンター運営会議を招集する。また、教育職員養成課程委員会の委員長を兼務する。

センター教員は、センターの事業計画に参画し、教職に関わる教育、研究及びその他の業務を行う。

教職教育担当特任教授 2 名は、センターに常駐し、学生の相談業務や、教員採用試験を受験する学生の指導、教育現場や地域の教育委員会との連携を図ること等を主な業務としている。それぞれ小学校・中学校の校長を務められた教員で、週 4 日間 10 時～18 時までの勤務時間となっている。

今年度は、昨年と比べて専任職員が 1 名減となり、派遣職員 1 名が配属されたことにより、業務内容の見直しと変更が伴いあわただしいスタートとなった。

### 教職教育センター室の開室時間

平成 21 年度	9:00～17:30	
平成 22 年度	9:00～11:20	12:20～17:30
平成 23 年度	9:00～11:20	12:20～17:30

### Ⅲ. 業務内容

#### 1. 教職支援課の役割

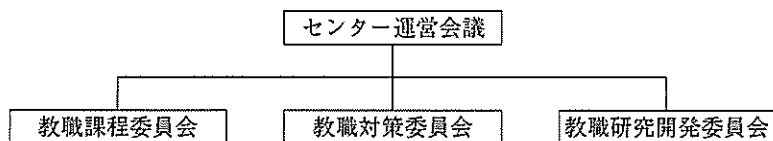
平成 23 年度は、教職に就くまでに、4 年間の大学生活でどのような勉強や、対策をするべきかを早い時期から把握してもらうため、新しく「教職教育センターハンドブック～先生になる応援冊子～」を作成した。このハンドブックを文学部、教育福祉学部、人間社会学部の教職課程を希望する 2 回生以上の学生に配布し、4 月のオリエンテーションを実施した。

授業が始まってからは、教育実習や教職をめざす学生に向けたオリエンテーションや学校支援学生ボランティアの説明会、模擬試験、教員採用試験の対策講座、教師塾説明会等を開催した。センターが実施する行事にどれだけ学生を引き付けられるかは毎年の課題となっているが、チラシを配布したりゼミ担当の先生に学生への周知を依頼するなど、工夫をしながら効果的な方法を探しているのが現状である。

教職支援課は、教員に「なりたい」という学生を中心に教職課程の履修指導や教育実習、教授対策、教職への就職をセンター教員と協力しながら、学生密着型のトータルな窓口として機能するよう努めている。

#### 2. 委員会

教職教育センター運営会議をはじめ既存の教育職員養成課程委員会に加え、教職対策委員会、教職研究開発委員会を 3 本柱にしてセンターを運営している。



センター運営会議

第 1 回

日時：平成 23 年 9 月 21 日（水）12:30～14:15

場所：センター会議室

議題：教員採用試験に関する今年度の反省と来年度の対策について

教職課程委員会

第 1 回

日時：平成 23 年 4 月 20 日（水）12 時 30 分～13 時 00 分

場所：センター会議室

議題：教職課程委員長選出について

平成 23 年度の教育実習等（訪問担当）について

平成 23 年度免許更新講習実施について

平成 23 年度教職課程予算について

第 2 回

日時：平成 23 年 5 月 24 日（火）14 時 20 分～16 時 30 分

場所：センター会議室

議題：「履修カルテ（案）」について

「介護等の体験」の共通理解について

ボランティア活動報告事項について

第 3 回

日時：平成 23 年 12 月 14 日（水）17 時 30 分～18 時 30 分

場所：センター会議室

議題：平成 23 年度「教育実習」について

平成 23 年度「介護等の体験」についての課題

第 4 回

日時：平成 23 年 2 月 8 日（水）13 時～14 時 30 分

場所：センター会議室

議題：平成 24 年度「介護等の体験」オリエンテーション実施方法について

平成 24 年度便覧の「教育職員養成課程について」の校正について

教職対策委員会

第 1 回（教職研究開発委員会合同）

日時：平成 23 年 6 月 15 日（水）12 時 20 分～13 時

場所：センター会議室

議題：委員長・副委員長の選出

今年度の両委員会開催予定について

今年度の教職教育センターの課題について

第 2 回

日時：平成 23 年 7 月 6 日（水）12 時 20 分から 13 時

場所：センター会議室

議題：平成 24 年度教職基礎科目について  
平成 23 年度課題の洗い出しについて

第 3 回

日時：平成 23 年 12 月 7 日（水）12 時 15 分～13 時

場所：センター会議室

議題：平成 24 年度の教職基礎演習等について  
平成 23 年度講師登録の状況報告

教職研究開発委員会

第 1 回（教職対策委員会合同）

日時：平成 23 年 6 月 15 日（水）12 時 20 分～13 時

場所：センター会議室

議題：委員長・副委員長の選出  
今年度の両委員会開催予定について  
今年度の教職教育センターの課題について

第 2 回

日時：平成 23 年 6 月 22 日（水）12 時 20 分～13 時

場所：センター会議室

議題：平成 24 年度補助金の獲得について  
第 3 号センター紀要について

第 3 回

日時：平成 23 年 12 月 14 日（水）12 時 20 分～13 時

場所：センター会議室

議題：第 3 号センター紀要について

3. 教職課程・教育実習・介護等の体験

先に述べたとおり本学では、5 学科に教職課程が設けられ、取得できる免許状も幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（国語・外国語（英語）・社会・保健体育）、高等学校教諭一種免許状（国語・書道・外国語（英語）・地理歴史・公民・保健体育）、特別支援学校教諭一種免許状（領域：知的障害・肢体不自由・病弱）と多岐にわたって

いる。

平成 21 年に教職教育センターが設置され、従来教務課が担当していた教職課程や教育実習・介護等の体験についての業務は、平成 22 年から教職支援課で取り扱う事となり、今年度は 2 年目となったが、これらの業務には、各学科や教員、教務課で取り扱う事項もあり、いかに分担すべきかは今後の検討課題である。

#### 《教育実習》

教職課程の履修は、学生が履修登録をする時点で資格登録をすることにより希望者を把握している。資格登録は、教育実習にいく前年度始めの決められた日程に行う必要があり、取得する免許状ごとに登録が必要なため、実際に教育実習に行く校種や教科以外の資格登録者が存在することや、進路変更や単位不足のために教職課程の履修をとりやめる学生も多く、資格登録者数と教育実習履修者数にはかなりの差が生じることになる。

次年度にどの校種、教科で教育実習に行くかは、前年度に行われる教育実習内諾オリエンテーションに出席する人数等で把握している。平成 22 年度と 23 年度の人数は以下のとおりである。

		内諾オリエンテーション出席者数※	教育実習生数
22 年度 実習	幼稚園	—	88
	小学校	—	136
	中・高等学校	—	178
	特別支援学校	—	95
	計	—	497
23 年度 実習	幼稚園	103	102
	小学校	147	139
	中・高等学校	179	154
	特別支援学校	115	101
	計	544	496

※…平成 22 年度実習の内諾オリエンテーションは教務課が実施担当のため人数は未記入。

#### 《介護等の体験》

本学では、介護等の体験を正課の授業としていないため、小学校、中学校の教員免許状取得予定者は、各自で教職課程委員会が主催する事前オリエンテーションに出席し、申込書を提出し、必要経費を振り込むことで参加することができる。参加対象は、文学部・人間社会学部は 3 回生以上。教育学部は 2 回生後期からとし、福祉施設の事前オリエンテーション 3 回、支援学校の事前オリエンテーション 1 回の参加を義務付けている。



平成 23 年度「大阪大谷大学教職教育センター」事業報告

平成 22 年度当初、教務課から業務を引き継いだ時点では、希望者はまず申込みをしてから事前オリエンテーションに出席し体験に参加していたが、事前オリエンテーションの欠席が多く、体験に参加する心構えができていない学生もいたため、実際に施設や支援学校での体験中に問題が多発したり、途中で放棄する学生も多く、教職課程委員会で検討の結果、平成 23 年度から申込手順を一部変更することになった。

変更後は、福祉施設の事前オリエンテーション 3 回のうち 1・2 回目を受講した学生のみ申込を受け付け、申込後に 3 回目のオリエンテーションを実施した。オリエンテーションの出席に関して言えば、効果はあったものの、オリエンテーションを受けてから、体験に参加するまでの期間が長くなったため、体験中の問題点についての効果はあまり見られなかった。

体験させていただく施設や支援学校にとっても、学生にとっても有意義な体験となるよう、今後も検討していく予定である。

	学科	申込者数		終了者数※	
		前期	後期	前期	後期
平成 22 年度	日本語日本文学科	1	14	1	14
	英米語学科	0	7	0	7
	文化財学科	2	12	2	12
	教育福祉学科	10	48	9	45
	人間社会学科	7	67	7	64
	科目等履修生	0	1	0	1
	計	20	149	19	143
平成 23 年度	日本語日本文学科	9	10	8	10
	英米語学科	1	13	1	13
	文化財学科	7	2	4	1
	教育福祉学科	13	72	12	71
	人間社会学科	9	43	9	38
	科目等履修生	0	1	0	1
	計	39	141	34	134

※…施設 5 日間、支援学校 2 日間両方の体験終了者数

#### 4. 免許状更新講習

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入されたことに伴い、本学でも平成 21 年度から免許状更新講習を実施し 3 年目を迎えた。初年度である平成 21 年度の事務担当は教務課であったが、平成 22 年度から教職支援課が担当

している。

平成 22 年度

《開設講座（選択領域）》

「特別支援教育講座」	8 月 2 日（月）～4 日（水）（18 時間）
「幼児教育講習」	8 月 5 日（木）（6 時間）
「学校教育講習」	8 月 6 日（金）（6 時間）

《受講人数》

「特別支援教育講座」	57 名（定員 50 名）
「幼児教育講習」	13 名（定員 60 名）
「学校教育講習」	4 名（定員 60 名）

平成 23 年度

《開設講座（選択領域）》

「特別支援教育講座」	8 月 1 日（月）～3 日（水）（18 時間）
「幼児教育講習」	8 月 4 日（木）（6 時間）
「学校教育講習」	8 月 5 日（金）（6 時間）

《受講人数》

「特別支援教育講座」	73 名（定員 50 名）
「幼児教育講習」	35 名（定員 60 名）
「学校教育講習」	31 名（定員 60 名）

受講人数は、平成 21 年度から年々増加傾向にある。外部からの問い合わせも様々で、「教員免許更新制」自体の概要を説明しなければならない場合もある。教員養成大学として多くの卒業生が現職教員として教育現場で働いている現状も鑑み、今後も継続して開催していく予定である。

## 5. 教職教育センターレポート

教職教育センターで実施している行事の案内や、教員採用試験対策の情報を報告する手段として「教職教育センターレポート」をメール配信している。

今年度の内容は以下のとおりである。

号 数	配信年月日・内容
23-1 号	平成 23 年 4 月 11 日 ・教職学内セミナーのご案内 ・教員採用試験の大学推薦について
23-2 号	平成 23 年 4 月 20 日 ・大阪府・大阪市・堺市の教員採用試験 願書一括出願について ・教員採用試験の大学推薦について No.2 ・4 回生対象 教員採用試験対策講座
23-3 号	平成 23 年 5 月 20 日 ・「教師のお仕事入門」(小学校体験)のご案内 ・堺市の教員採用試験 願書一括出願について
23-4 号	平成 23 年 7 月 5 日 ・6 月「教師のお仕事入門」(小学校体験) 終了報告 ・9 月「教師のお仕事入門」(中・小学校体験、高等学校体験) (小学校体験 part 2)のご案内 ・教員採用試験の面接等について
23-5 号	平成 24 年 1 月 18 日 ・2 月「教師のお仕事入門」(中・小学校体験、高等学校体験)のご案内 ・教職教養対策講座について

#### 6. 大阪大谷大学教職教育センター紀要

今年度は第 3 号を発行することとなり、国立国会図書館の ISSN (国際標準逐次刊行物番号) を取得した。今後ますます本学の教職対策、教職研究開発に寄与していきたい。

#### IV. 大学教育・学生支援推進事業 (学生支援推進プログラム) の実績と成果

名称：【免許を「とりたい」から教員に「なりたい」へつなぐ学生就職支援】

期間：平成 21 年度～平成 23 年度

文部科学省 平成 21 年度大学教育・学生支援推進事業 (学生支援推進プログラム) に採択された本事業も 3 年目を迎え最終年度となった。名称のとおり、「教員免許状を取得すること」を目標としていた学生が「新任教員」としてスタートを切るための支援をするための取組である。これは事業が終了した今年度をもって終わるわけにはいかないセンターの課題であり、

## 平成 23 年度「大阪大谷大学教職教育センター」事業報告

今までに実施した以下の講座の成果を今後につなげる基盤として、学生に残していきたいと考えている。

教職への就職支援達成を改善するために、「教師の仕事入門講座 '11」「学力向上基礎講座 '11」「現場実践経験基礎講座 '11」の実施による、マルチメディア・データベースシステム（以下、「教職リテラシー育成データベース」）の構築・運用、ならびに事業報告書（成果報告パンフレット・DVD）、教職リテラシー育成テキストの刊行により、教職への就職に関心のある学生に対するニーズの一層の掘り起こしと学習支援プロセスへの接続を通じた就職支援をはかることを目的とした。（取り組みの詳細については、成果報告パンフレットに添付の DVD 参照）

今年度は、取組の最終年度として、成果報告パンフレットの発行、「教職リテラシー育成テキスト」の作成等、これらを学生が利用しやすいようにまとめる作業を行った。

以上、平成 23 年度の教職教育センターの事業活動を、教職対策関係行事以外の内容でまとめたものである。

平成 24 年度も、センター教職員一同新たな気持ちで、教職を目指す学生の支援を一層充実させていきたいと願っている。

## 【事業報告】

# 平成 23 年度「教職教育センター行事」について

岡崎由紀美\*

全学的な施設としてセンターが出来て3年目を迎え、あらゆる学部の学生をセンター内で見かけることが増えてきた。行事を通じては、教職をめざす学生が学部を超えて交流できていることを実感できた。

今年度は、センター開設以後2年間の学生動向を捉えながら、段階を経ながらも重要ポイントは繰り返し行った。内容については、学生が関心を持って取り組み、参加した実感がもてるよう工夫した。他の行事や授業との重なりにより、参加できない学生には、ビデオ視聴や個別で対応した。

行事は「説明会」、「対策」、「オリエンテーション」というカテゴリで分類した。個々の行事をこのカテゴリ別に報告する。

## I. 説明会

### 1. 教職学内セミナー（教員採用試験説明会）

主として近隣自治体（大阪府・大阪市・堺市・京都府・和歌山県・奈良県）及び横浜市の教育委員会より講師を招聘し、教員採用試験の実施状況や募集概況、各教育委員会が求める人物像などについて講演していただいた。教育委員会ごとに設定した教室を学生が訪問する方式で実施した。

#### ① 4 回生対象 教職学内セミナー（大阪府・大阪市・堺市）

日 時：4月13日（水）4・5限

表1 平成23年4月13日（水）実施 教職学内セミナー 時間割

教育委員会名	教室	14:40～15:25	15:45～16:30	16:50～17:35
		説明①	説明②	説明③
大阪府	3-103	○	○	
大阪市	授業模擬実践室			○
堺市	教材機器室	○	○	○

\*大阪大谷大学教職支援課

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

参加人数：99 名

内 容：7 月に実施される教員採用試験の実施要項の配布及び各教育委員会が求める人物像や教育委員会の取り組み等

(表 1) は、教育委員会ごとの説明時間と教室

学生のアンケートより

- ・自分が生徒のためにどのようなことができるのかを考えなければいけないと思った。中途半端な気持ちを持ってはいけないと思った。
- ・参加する前は、試験に向けて不安ばかりが募っていましたが、参加することで、不安に思うだけでなく行動していこう！！という意欲が増しました。
- ・短い時間の中でとても内容の濃い話を聞く事ができました。これから試験までの期間、自身の生活を見直し、一層の努力をしていきたいと思いました。また、大阪の子どもたちの現在の課題がまだまだわからないことが多いと痛感しました。試験勉強もしつつ、大阪の今を知っていこうと思いました。
- ・自分自身の目指す教師像がより明確になり、どこで教師になりたいと思うのかがはっきりとわかりました。時間がもうあまりないですが、勉強を頑張って、夢を実現したいと思います。
- ・教諭になりたいという気持ちがより大きくなりました。また、計画性を持って勉強に取り組むことができるのではないかと思います。ただ、同時にあせりを感じています。
- ・新任の先生方の VTR が見られて、試験に向けて頑張ろうという気持ちになりました。また、注意事項も詳しく知ることができたので良かったです。

表 2 平成 23 年 4 月 13 日 (水) 実施 教職学内セミナー参加状況

学 部	訪問した教室の数		
	1 つ	2 つ以上	計
文 学 部 (大学院生 1 名含)	3 人	6 人	9 人
教育福祉学部	59 人	27 人	86 人
人間社会学部	4 人	0 人	4 人
合 計	66 人	33 人	99 人

② 4 回生対象 教職学内セミナー (和歌山県・奈良県・京都府)

日 時：5 月 18 日 (水) 4・5 限

参加人数：27 名

内 容：7 月に実施される教員採用試験の実施要項の配布及び各教育委員会が求める人物

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

像や教育委員会の取り組み等

年度当初に兵庫県教育委員会にもご協力をお願いしたが、近年、採用試験の受験数が少ないことなどから、不参加となった。

表 3 平成 23 年 5 月 18 日（水）実施 教職学内セミナー 時間割

教育委員会名	教室	14:40～15:25	15:45～16:30	16:50～17:35
		説明①	説明②	説明③
和歌山県	3-103		○	○
奈良県	授業模擬実践室	○	○	
京都府	教材機器室	○	○	○

学生のアンケートより

- ・どのような教員が求められているのかを知るいい機会となった。愛を持って子どもと関わる大切さを知った。
- ・昨年との相違点等が細かく分かりやすかった。説明だけでなく先生になるための心構えも伝えていただき良かった。
- ・教員採用試験の詳しい内容に限らず、教師になるための心構え等の話も聞いたので、今後の参考になりました。
- ・教師の良さをお話し頂いて改めて教師になりたいと感じました。また試験対策も聞いてとても良かったです。
- ・3 回生ですが、今聞いておくことで来年の準備もできるので良かったと思います。自分がどんな教師になりたいのか、しっかりと 1 年かけて探したいと思いました。
- ・試験内容が変更されたことや細かな所までお話を聞かせていただけたのが良かったです。多くのことを聞ける機会だったので本当に良い時間でした。

表 4 平成 23 年 5 月 18 日（水）実施 教職学内セミナー参加状況

学 部	訪問した教室の数	1 つ	2 つ以上	計
	文 学 部		3 人	1 人
教育福祉学部 (3 回生 1 名含む)		16 人	3 人	19 人
人間社会学部 (3 回生 2 名含む)		3 人	1 人	4 人
合 計		22 人	5 人	27 人

- ③ 3 回生対象 教職学内セミナー（大阪府・大阪市・堺市・和歌山県・奈良県・京都府・横浜市）  
日 時：12 月 14 日（水）4・5 限

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

参加人数：106 名

内 容：4 月に実施した 4 回生対象の教職学内セミナーと同じスタイルで実施した。教育委員会ごとに設定した教室を学生が訪問し、1 コマ 45 分の話聞いた。来年度の教員採用試験に向けて、各教育委員会の取り組みや本年度実施の教員採用試験のことなどをお話していただいた。今年度は、卒業生が複数名活躍している横浜市教育委員会の参加もあり、学生たちの視野も広がった。

表 5 平成 23 年 12 月 14 日（水）実施 教職学内セミナー 時間割

教育委員会名	教室	14:40～15:25	15:45～16:30	16:50～17:35
		説明①	説明②	説明③
大阪府	3-103		○	○
大阪市	3-103	○		
堺市	3-106	○	○	○
和歌山県	授業模擬実践室	○	○	
奈良県	授業模擬実践室			○
京都府	教材機器室	○	○	○
横浜市	個人学習コーナー		○	○

学生のアンケートより

- ・それぞれの特徴や良さなど理解することができました。また、視野も広がり、より一層教員になりたい気持ちが出て、勉強をがんばろうと思いました。
- ・大阪府教育委員会のお話を聞き、求められている人物像がよくわかりました。今はまだ求められているものにこたえることができませんが、まだ時間は残っているので 1 日 1 日を無駄にせず、人格を磨き、勉学にはげんでいこうと思いました。参加し“やる気”のスイッチが入った気がします。
- ・採用試験に受かることは大切だけど、子どもに対して、より良い教育ができる教員としての資質を高めることが大切だという言葉が印象に残りました。
- ・大阪府として大切にしていること（地域、家庭とのつながり）が分かって良かったです。連携することで見えてくることが多いと思うので、全身体制で教育に携わっていける社会をつくりたいと思いました。また、模擬授業についても少し知れたので、安心しました。いい機会をありがとうございました。
- ・自分が今まで疑問に思っていた制度や採用試験のことが分かって良かったです。また、それぞれの府・県でのお話を聞いてより一層先生になりたいと思ったし、どこで働きたいか決まってきました。



平成 23 年度「教職教育センター行事」について

表 6 平成 23 年 12 月 14 日（水）実施 教職学内セミナー参加状況

学 部	訪問した教室の数		
	1 つ	2 つ以上	計
文学部	4 人	4 人	8 人
教育福祉学部	45 人	43 人	88 人
人間社会学部	4 人	6 人	10 人
合 計	53 人	53 人	106 人

学生の参加状況を学部ごと、参加コマ数別に集計した結果は（表 2・表 4・表 6）に示すとおりである。文学部・人間社会学部については、教職希望者が少ないこともあり、参加者数は少ないが、複数の教育委員会の部屋を訪問し、熱心に耳を傾け、より多くの情報を集めようとする学生の姿が印象的であった。

3 回生後期では、受験する自治体を決めかねている学生も見受けられるが、4 回生の春までには、受験する自治体がほぼ固まってくるようである。

3 回生の間に教育委員会が求める人物像や採用試験の状況を把握することが、春季長期休業中の目標設定につながると考える。

しかし、春季長期休業中の学生の動向がつかめないことが大きな課題である。次年度は、目標達成のための学習プログラムと自己分析プログラムを設定し、講座等を実施したいと考える。

## 2. 教師塾等説明会

教育委員会が実施する教師の卵を育てるためのプログラムは、通称「教師塾」と言われている。今年度も近隣で「教師塾」を実施している教育委員会から講師を招聘し、昼休みを利用して入塾のための説明会を実施した。年度初めに 5 月 24 日（火）に予定していた「奈良県デア・ティーチャー・プログラム」説明会は、教育委員会担当講師の都合により中止となった。

### ① 大阪市教師養成講座説明会

日 時：5 月 10 日（火）昼休み

参加人数：24 名

内 容：昨年度及び今年度のプログラムや講師の紹介、塾生の感想など。

### ② 堺・教師ゆめ塾説明会

日 時：5 月 13 日（金）昼休み

参加人数：12 名

## 平成 23 年度「教職教育センター行事」について

内 容：昨年度及び今年度のプログラムの紹介や塾生の採用試験結果等、堺市独自の取り組みや本学卒業生が活躍している様子など。入塾対象者が 4 回生や社会人を含むのも特徴の一つである。本学学生は、2 年連続して入塾する者も多い。

### ③ 大阪教志セミナー説明会（大阪府）

日 時：5 月 17 日（火）昼休み

参加人数：33 名

内 容：これまでのセミナーの様子をまとめた DVD を視聴後、塾生の感想や欠席時の対応等について説明があった。

他大学の学生や講師経験者との交流は教職をめざす学生のモチベーション向上に不可欠である。昨年度の反省から、教師塾をはじめ、各教育委員会主催の説明会の参加など、外部行事へも参加するように早い時期から繰り返し呼びかけた結果、説明会への参加者は増加し、関心の高まりを実感した。

## 3. 講師登録説明会

後期授業開始直後と採用試験最終結果発表後の 2 回実施した。先輩たちの成功例や失敗例などを交えて、教職教育センター教員より説明を行った。学生の希望状況を把握し、きめ細やかな支援を行うため「学内講師登録調査票」を配布し、メールアドレスの登録を呼びかけた。

### ① 第 1 回 9 月 27 日（火）5 限／参加人数 約 100 名

教員採用試験の最終結果発表前のため、結果待ちの学生が参加したことで、多人数となった。

### ② 第 2 回 11 月 4 日（金）5 限／参加人数 約 40 名

## II. 対策

### 1. 教員採用試験対策講座（4 回生対象）

#### ① 面接・エントリーシート対策

日 時：4 月 19 日（火）5 限 及び 4 月 22 日（金）5 限

参加人数：83 名・44 名 計 126 名（両日に参加した学生 1 名含む）

内 容：教職教育センター担当教員による講義。面接を受ける際の注意点や心構え、自己 PR の組立て方などの説明後、エントリーシートの作成練習を実施した。

授業との重複を考慮し、今年度は同じ内容の講座を 2 回実施し、学生はどちらか都合のつく

時間の講座に参加することとした。

② 一次筆記試験直前対策

日 時：5月7日（土）4限

参加人数：75名

内 容：2ヵ月後に迫った採用試験に向けて、外部講師による筆記試験の重点対策（講義）。近年の採用試験の傾向や注意点、頻出事項などについて、全国実施問題（抜粋）を用いながらの説明、及び自学では難しい直近の「教育時事」について情報提供を受けた。

③ 幼稚園教員採用試験対策講座

日 時：5月11日（水）5限

参加人数：3名

内 容：外部講師を招聘し、夏と秋に行われる公立幼稚園の採用試験対策についての講演。特に自治体による幼稚園教員採用試験の違いや近年の採用動向、試験の傾向と対策について、例題の解説なども交えて説明を受けた。

④ 面接対策講座

日 時：5月25日（水）4限（5限）

参加人数：77名

内 容：教職教育センター担当教員による講義と実践練習を実施。面接を受ける際の注意点や心構え、自己PRの組立て方など、前回の復習を行った後、代表者が志望動機や長所などを発表した。

また、希望者を対象とし、5限にエントリーシートの作成について個別指導を行った。

⑤ 面接対策講座

日 時：6月22日（水）4・5限

参加人数：56名

内 容：5月25日（水）に実施した内容の復習をした後、参加者全員を対象に模擬面接を実施した。教職教育センター担当教員が面接官役を務め、学生一人当たり一分間の自己PRを発表した。

⑥ 模擬面接編

日 時：7月6日（水）4限

参加人数：48名

内 容：集団討論や場面指導、模擬授業などについての講義と実践練習を実施。前回までのまとめの後、試験当日の注意点や心構え、当日の進行状況などについて説明。

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

その後、代表者が模擬授業や場面指導を行った。

⑦ 特別支援教育について

日 時：7月13日（水）4限

参加人数：約40名

内 容：筆記試験に必出である特別支援教育について本学教育福祉学部の教員による現場や子どもたちの状況を交えながらの講演。特に特別支援教育の免許状を取得しない学生にとっては学ぶ機会が少ないため、講座として開催した。

⑧ 二次面接編

日 時：7月27日（水）4・5限

参加人数：17名

内 容：教職教育センター担当教員より、二次試験の模擬授業や場面指導、個人面接などについて指導後、参加者が模擬授業や場面指導を行った。

4月から7月末に4回生を対象として実施した採用試験対策講座への参加数と、教員採用試験の結果は下記の通りである。

表7 教員採用試験の合格者数と教員採用試験対策講座への参加者数

一次試験合格者数(A)	(A)のうち1回以上講座へ参加した者の数		(A)のうち2回以上講座へ参加した者の数	
48名 (前年72名)	36名 (前年61名)	75.0% (前年84.7%)	30名 (前年46名)	62.5% (前年63.9%)
最終合格者数(B)	(B)のうち1回以上講座へ参加した者の数		(B)のうち2回以上講座へ参加した者の数	
37名 (前年45名)	27名 (前年42名)	73.0% (前年93.3%)	21名 (前年34名)	56.8% (前年75.6%)

卒業生からは、講座やオリエンテーションをきっかけに仲間同士で、励まし合い、頑張り通す力につながったという声を耳にする。複数で取り組むことで、自分に足りない点、他の人の良い点、見習う点などが比較でき、安心して筆記試験や面接試験に臨んでいると考える。


しかし、今年度は、個人学習のほうが自分に向いているという学生が多く、対策講座の中でも参加者全体での面接練習時や情報交換を行う時には、参加をためらう学生が多かった。そのことも影響しているのか、全体的な盛り上がりには欠け、学生たちが入手している情報にも偏りがあったように感じる。センター主催の行事を学習や面接につなげてもらえるよう、センターの行事や情報の活用方法を早期からアナウンスすることが次年度の課題と捉えている。

平成 23 年度「教職教育センター行事」について


※「模擬授業の実演」評価の観点と指導の流れ		
評 価 の 観 点	1 人柄 (明るさ、人柄、教育者意識) 2 目的の明確性 (課題整理、受け止め) 3 実践的な対応力 (基本構成と実践展開) 4 人間性 (柔軟な対応力、指導力) 5 専門性としての独自性 (独自の切り取り)	授業者ご成りなる 演技力
■	○児童・生徒への学習活動への思いのこもった 実践力 ○本時の目標、内容、対応等の「学び、への 意思、工夫 ○板書、提示資料等の活用	○授業者の実情 ・明るく自信やかに、全体を見渡して、 ハッキリとした声で ○課題の話し方 ・語りかけ、声量、わかりよさ、話 いのおもしろさ
課 外	○児童・生徒の学習活動とその深化、指導の 状況への配慮 ○心配りと目配り、立ち止まりの動きや配慮 し ○中絶までのと頑なめ	○授業目標の明確化 ・ポイントをはっきり ○資料の活用 ・効果的な新書の活用、学習意欲を 引き出す資料提示、板書で動作
求 め ら れ る 点	○児童・生徒のリアリティ、成長感、授業への 盛り上げなど ○実践の学び(楽しみ)を忘れないで	○疑問の解消 ・指示と即答(実況、疑問、理解のゆ ぎまし等の状況の対応)

写真 1 教員採用試験対策講座資料

平成 23 年 6 月 24 日



教員を目指す  
4 回生へ



教員実習生

**教員採用試験直前対策講座  
〈面接実践編〉の実施について**

教員採用試験の面接対策として、総復習を行  
います。教員採用試験を受験する 4 回生は、参  
加してください。

記

日 時：平成 23 年 7 月 6 日 (水) 4 限  
教室：D (1-109) 教室  
内 容：①自己 PR・志望動機のみまとめ  
②質問・課題事例  
③最終注意事項

\*スーツ着用のごと  
\*4/19 に配布した資料持参のごと。

以上

写真 2 教員採用試験対策講座案内掲示

## 2. 面接・グループワーク等練習

6 月第 1 週から 9 月中旬までの連日、グループ面接・個人面接・集団討論・場面指導・模擬授業の練習を実施した。練習の申し込みは予約制とし、教職教育センター窓口を設置した面接予約表の希望の日時に名前を記入することとした。

採用試験の多様化に伴い、模擬授業や集団討論の練習を早期から実施した。また、一人当たりの練習回数を見直しなどを行い、希望する学生がより多く面接の練習ができるように考慮した。

### ① 第一次試験対策 面接練習

期 間：6 月 7 日 (月)～7 月 23 日 (金)

参加人数：延べ 463 名 (前年比 228.9%)

### ② 第二次試験対策 面接練習

期 間：7 月 26 日 (月)～9 月 10 日 (金)

参加人数：延べ 344 名 (前年比 99.1%)

面接練習の実施にあたっては、昨年に引き続き、学内の教員にも面接指導を依頼した。より多くの協力を得て、面接方法にも広がりが出、様々な視点、観点からの練習ができた。

## 平成 23 年度「教職教育センター行事」について

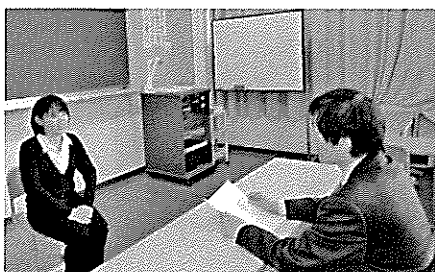


写真 3 面接練習の様子

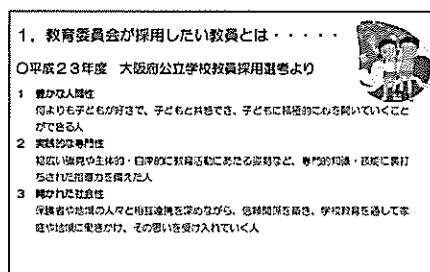


写真 4 面接対策資料

### 3. 特別対策講座

学内の教員の協力を得て、複数回、対策講座を実施した。実施にあたっては、事前申込制とした。

#### ① 音楽実技対策（小学校教員希望者向け）

参加人数：17名

日時：6月29日（水）5限

内容：教育福祉学部の教員より講座の進め方について説明を行い、各自の課題決定と今後の日程調整を行った。その後については、自由参加とした。

#### ② 小論文対策

参加人数：17名

日時：6月20日（月）から開始

内容：教育福祉学部の担当教員が、学生の受験自治体別に対策資料と課題を教職支援課の担当者に渡し、申し込んだ学生が教職教育センターで課題を受け取る。学生は課題が出来次第、教員に提出。教員は2日後に添削した課題を返却し、学生はそれを元に再度書き直し提出。これを試験まで複数回繰り返すこととした。

#### ③ 体育実技対策（小学校教員希望者向け）

参加人数：35名

日時：7月2日（土）・9日（土）・16日（土）9時～12時半

内容：教員採用試験で課される跳び箱、マット、ハードル、水泳について教育福祉学部教員、教職教育センター教員、外部講師の3名で指導にあたった。前半は体育館内の競技、後半は水泳を実施した。

16日（土）は、自主練習を中心とした内容で、教職教育センター教員が監督にあたり、実施した。

④ 外国語活動解説講座（小学校教員希望者向け）

参加人数：3名

日 時：7月9日（土）13時～14時半

内 容：小学校学習指導要領の改訂に伴い外国語活動の授業時数が定められた。学習指導要領の内容を理解し、学校現場での外国語活動に生かすことを目的に講座を実施した。

⑤ 図画工作対策

参加人数：3名

日 時：7月30日（土）2限～4限

内 容：教育福祉学部の教員が、指導にあたった。午前には、デッサンの方法や注意点などについての講義のあと、課題の制作を行った。午後からは、ポスターの制作と立体の制作を行った。また、それらの制作物について個別に指導を行った。

⑥ 体育実技対策（中学校・高等学校教員希望者向け）

参加人数：7名

日 時：8月19日（金）9時～12時半

内 容：教員採用試験の二次試験で課される陸上競技・球技・水泳につ経験豊かな講師を招き、受験時の心得や注意点などについてアドバイスをいただいた後、実技指導を受けた。

また、小学校教員希望者の参加も可能とし、3名の参加者があった。

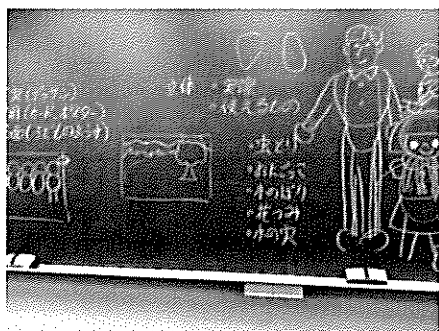


写真 5 図画工作対策講座



写真 6 体育実技対策講座

#### 4. 教職模試

学内で時事通信出版局及び東京アカデミーによる模擬試験を前期に5回、後期に1回実施した。また1月には、学外実施の模擬試験についての申し込みを行った。受験対象学年は限定していないが、前期の受験者の大部分が4回生で、後期は、次年度に教員採用試験を受験す

る予定の 3 回生・4 回生が受験した。

- |                 |           |                    |
|-----------------|-----------|--------------------|
| ① 4 月 9 日 (土)   | 受験者数：4 名  | 出題：時事通信出版局         |
| ② 4 月 16 日 (土)  | 受験者数：27 名 | 出題：東京アカデミー         |
| ③ 5 月 7 日 (土)   | 受験者数：29 名 | 出題：時事通信出版局         |
| ④ 5 月 14 日 (土)  | 受験者数：20 名 | 出題：東京アカデミー         |
| ⑤ 6 月 4 日 (土)   | 受験者数：15 名 | 出題：時事通信出版局         |
| ⑥ 12 月 10 日 (土) | 受験者数：22 名 | 出題：時事通信出版局         |
| ⑦ 1 月 15 日 (日)  | 受験者数：46 名 | 出題：東京アカデミー (学外で実施) |

#### 5. 外部講師による対策講座 (教育後援会推奨講座)

平成 24 年度受験予定の学生を対象とした一般教養対策 (小学校教科対策を含む) と教職教養対策の 2 つの講座を実施した。「一般教養対策講座」の事前説明会は 7 月 13 日 (水) の昼休みに 1-108 教室で、「教職教養対策講座」の事前説明会は 1 月 11 日 (水) の 4 限に 1-109 教室にて開催した。①②とも教育後援会からの援助でテキスト代のみで受講できた。講師はいずれも時事通信出版局よりの派遣者である。③は、一昨年度より引き続き、常時実施している。

##### ① 一般教養対策講座 (小学校教科内容を含む)

日 時：8 月 18 日 (木)・19 日 (金)・22 日 (月)・23 日 (火)・25 日 (木)・26 日 (金)  
4 日間 2 限～4 限

申込人数：17 名

内 容：小学校の専門教養で出題される主要 4 教科 (国語、算数・数学、社会、理科) についての講座。一次試験の一般教養、二次試験の小学校教科内容対策として実施した。

##### ② 教職教養対策講座

日 時：2 月 13 日 (月)～2 月 24 日 (金) のうち、追・再試期間を除く月火木金 8 日間  
2 限～4 限

申込人数：122 名

内 容：教職教養 (教育時事・教育心理・教育原理・教育法規・学習指導要領・生徒指導・教育史) の頻出事項を講義し、問題演習を通じて得点力を身につけることを目的としている。

##### ③ DVD 講座

教育後援会からの援助で平成 21 年度購入した「教員採用試験対策サクセス講座 実力練成 シリーズ一般教養 (人文・理数)」(DVD) は、学生が随時、教職教育センター内のパソコンで視聴できる。



利用人数：延べ 23 名

### Ⅲ. オリエンテーション

#### 1. 教員を目指す 3 回生を対象としたオリエンテーション

##### ① 教職オリエンテーション「教職をめざすにあたって」

日 時：5 月 12 日（木）昼休〔欠席者対応：5 月 31 日（火）昼休み〕

参加人数：86 名〔5 名〕

内 容：教員採用試験の概要、これから始める学習方法、情報の集め方、情報の活かし方について講義した。

##### ② 幼稚園オリエンテーション「幼稚園教諭を目指すにあたって」

日 時：5 月 20 日（金）昼休み〔欠席者対応：随時〕

参加人数：60 名

内 容：幼稚園教員採用試験の概要、これから始める学習方法、情報の集め方、情報の活かし方について講義した。また、公立幼稚園と私立幼稚園の違いについても説明した。

##### ③ 教職オリエンテーション「秋から始める勉強について」

日 時：10 月 5 日（水）5 限

参加人数：98 名

内 容：3 回生の活動状況や学習の進行状況を把握し、後期の学習に繋げることを目的に実施した。前半の 60 分間では、学習のすすめ方について説明し、後半の 30 分間で、採用試験の体験談や学習方法について、一次試験に合格した 4 回生 4 名から体験談を聞く機会を設けた。また、先輩に質問出来る時間を設け、最新の情報を聞く機会とした。

##### ④ 幼稚園オリエンテーション「幼稚園教諭採用試験に向けての学習対策」

日 時：10 月 19 日（水）4 限

参加人数：41 名

内 容：外部講師からの具体的な説明。今年度の募集状況や情報の集め方、頻出問題の解答方法などの講義を受けた。また、4 回生に進級するまでに学習習慣を定着させることも目的とした。

##### ⑤ 教職オリエンテーション「教員採用試験の傾向と対策」

日 時：11 月 16 日（水）5 限

参加人数：114 名

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

内 容：外部講師からの具体的な説明。平成 23 年に実施された採用試験の概要についての説明に続き、大阪府の教員採用試験の募集要項やエントリーシートでの注意点や対策について実施問題やエントリーシートを用いて、記入時の注意点や面接官の視点、類出分野などについて講義を受けた。実際の募集要項や問題に触れる機会となった。

⑥ 幼稚園オリエンテーション「秋から始める勉強について」

日 時：11 月 30 日（水）4 限

参加人数：41 名

内 容：採用試験の体験談や学習方法について、幼稚園への就職が内定している 4 回生 3 名から体験談を聞く機会を設けた。先輩の話をもとに 3 回生が自らの活動状況や学習の進行状況を把握し、今後の学習に繋げることを目的に実施した。

⑦ 教職オリエンテーション「教員採用試験 一般教養・教職教養対策を中心に」

日 時：1 月 11 日（水）4 限

参加人数：92 名

内 容：外部講師による具体的な説明。大阪府の 3 年間の問題と分析表をもとに出題傾向の分析方法と学習対策について講義を受けた。また、解答のポイントや教職時事についても具体的な説明を受けた。これまでの学習方法を振り返り、今後の学習方法や対策を見つけ、有意義な春休みを過ごすためのきっかけとなった。

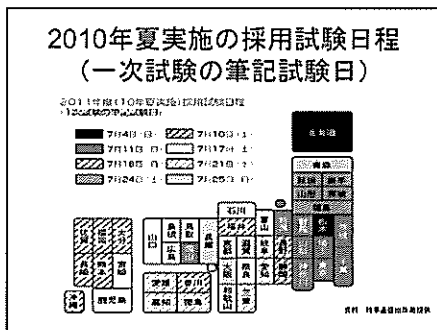


写真 7 教職オリエンテーション資料

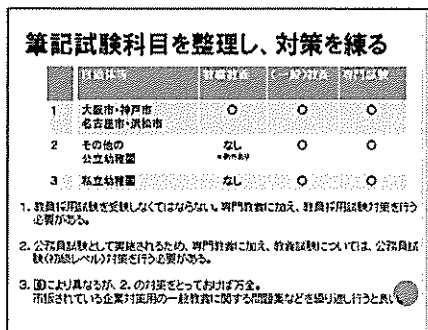


写真 8 幼稚園オリエンテーション資料

2. 教員を目指す 2 回生を対象としたオリエンテーション

① 教職オリエンテーション「教職をめざすにあたって」

日 時：6 月 7 日（火）昼休み・6 月 14 日（火）昼休み

参加人数：99 名・93 名 計 192 名

内 容：学生からの「どのように学習を始めたらいいいのかわからない」という質問に応え

#### 平成 23 年度「教職教育センター行事」について

るため、教職教育センターにある参考書や資料などの紹介等も含め、情報収集の方法や学習方法、ボランティアや園見学の重要性を説明した。

当初は 6 月 7 日（火）1 回のみの実施予定であったが、参加希望者が多く、急きょ 14 日（水）に同じ内容で実施した。

##### ② 幼稚園オリエンテーション「幼稚園教諭をめざすにあたって」

日 時：6 月 17 日（金）昼休み

参加人数：93 名

内 容：幼稚園の種類と募集についてから、採用試験の項目や実施時期などについて説明した。日常の学習方法について具体的に説明し、早期からの学習習慣の定着を呼び掛けた。

##### ③ 幼稚園オリエンテーション「幼稚園教諭をめざすにあたって」

日 時：11 月 9 日（水）昼休み（11 日から変更）

参加人数：63 名

内 容：情報収集や勉強方法の再確認と参考書や資料などの紹介、今年度の幼稚園教員採用試験の結果報告、基礎学習の重要性を説明した。

##### ④ 教職オリエンテーション「教職をめざすにあたって」

日 時：11 月 18 日（金）昼休み

参加人数：182 名

内 容：情報収集や勉強方法の再確認と参考書や資料などの紹介、今年の夏の教員採用試験の状況報告、および教師塾やボランティア活動の重要性を説明した。

#### IV. 学校支援学生ボランティア

##### ① 学校支援学生ボランティア説明会・研修会

日 時：4 月 26 日（火）5 限

参加人数：119 名

内 容：ボランティア活動を始めるにあたっての心構えや注意点、手続き方法などについて、教職教育センター教員より講義を行った。

##### ② 学校支援学生ボランティア修了式

日 時：2 月 10 日（金）2 限

参加人数：約 31 名（修了証授与対象者 105 名）

内 容：学生からの活動報告と教職教育センター教員からの感想等。  
教職教育センター長より修了証書を授与した。



写真 9 学校支援学生ボランティア修了式



写真 10 学校支援学生ボランティア情報掲示板

## V. おわりに

教職教育センターの役割や利用方法などを理解してもらうため、センターツアーを随時行うことで、1・2回生がセンターを身近に捉えてもらうことへ繋げられたと感じている。その結果、授業の空き時間に教職教育センターを利用する学生も増え、センター行事への関心が高まったようである。行事の中で、学生の「なるほど!」という表情や「がんばろう!」という反応をはっきりと感じるようになってきた。

しかし、昨年度からの課題として感じていた4回生の参加率に関しては、限られたメンバーであるという印象が強く残った。

この反省を活かし、学生の特性にあった内容で行事を構成し、加えて、掲示板や口コミでの情報伝達を上手に利用して多くの学生の参加を確保したい。

また、2年間の行事設定日および時間を徹底して見直し、特に時間をかけてゆっくり説明する必要のある行事は、同じ内容で複数回実施するなどして、学生の意欲向上へとつなげたい。そして、学生の意欲が高まったタイミングを逃さず、モチベーションを維持する取り組みが次年度への課題と感じている。

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

平成23年度 教職教育センター年間行事予定					2011.3.30現在
カテゴリ	月	日(曜)	時間	行事名	内 容
教育実習	4月	20日(水)	5限	直前オリエンテーション(幼・小)	23年度 教育実習(幼・小)生対象
			5限	内諾オリエンテーション(中・高)	24年度 教育実習(中・高)予定者対象
		27日(水)	4限	直前オリエンテーション(中・高)	23年度 教育実習(中・高)生対象
			5限	直前オリエンテーション(特支)	23年度 教育実習(特支)生対象
	7月	6日(水)	5限	内諾オリエンテーション(特支)	24年度 教育実習(特支)予定者対象
		13日(水)	5限	内諾オリエンテーション(幼・小)	24年度 教育実習(幼・小)予定者対象
11月	4日(金)	昼休	大阪府内実習先選分けオリエンテーション(特支)	24年度 大阪府内の支援学校で教育実習(特支)予定者対象	
介護等の体験	4月	4日(水) 23日(水)	3・4限 1・2限	介護等体験初エディション①② # (予備日)	23年度前期体験参加者 後期体験申込み予定者対象
	5月	7日(土) 14日(土)	2限	介護等体験初エディション③ # (予備日)	23年度前期体験参加者対象
	11日(水)	昼休		23年度後期申込オリエンテーション	23年度後期体験申込み予定者対象
	6月	6日(水)	5限	和歌山支援学校介護等体験初エディション	24年度前期・後期体験参加者対象
	9・10月	16日(金) 1日(土)	2限 3限	介護等体験初エディション④ # (予備日)	23年度後期体験参加者対象
	10月	16日(金) 1日(土)	3・4限 1・2限	介護等体験初エディション①② # (予備日)	24年度前期体験申込み予定者対象
	10月	12日(水)	昼休	介護等体験申込オリエンテーション	24年度前期体験申込み予定者対象
	11月	9日(水)	5限	教員免許状一括申請説明会	4回生・専攻科生・大学院生 H23.3月免許状取得見込み者対象
教員採用試験説明会	4月	13日(水)	4・5限 14:40~17:50	4回生対象 教職学内セミナー (大阪府・大坂市・堺市)	教育委員会講師による説明会 (事前申し込みあり) 各教育委員会ごとに設定した各教職を学生が訪問
	5月	16日(水)	4・5限 14:40~17:50	4回生対象 教職学内セミナー (和歌山県・奈良県・京都府・兵庫県)	
	12月	14日(水)	4・5限 14:40~17:50	3回生対象 教職学内セミナー (近畿教育委員会)	
講師登録説明会	9月	27日(火)	5限 16:10~17:50	4回生対象 講師登録説明会	講師の採用について 概要説明と登録の方法について説明
	11月	4日(金)	5限 16:20~17:50	4回生対象 講師登録説明会 <予備日>	
4回生対象 教員採用試験 対策講座	4月	19日(水)	5限 16:20~17:50	4回生対象 教員採用試験対策講座	面接・エントリーシート対策 志望動機・自己PRのつくりかた
		22日(金)	5限 16:20~17:50	" <予備日>	4/19(火)予備
	5月	7日(土)	4限 14:40~16:10	4回生対象 教員採用試験対策講座 筆記試験対策を中心に	直前対策 外部講師による講演
		11日(水)	5限 16:20~17:50	4回生対象 幼稚園教員採用試験対策講座 筆記試験対策を中心に	直前対策 外部講師による講演
	5月	25日(水)	4限 14:40~16:10	4回生対象 教員採用試験対策講座	エントリーシート・面接対策(生に集団面接) 注意と心得及び自己PR
	6月	22日(水)	4・5限 14:40~17:50	4回生対象 教員採用試験対策講座 面接実践編	模擬面接 自己PR・志望動機を中心に
	6 \n8月	5時	5時	面接・グループワーク練習 (集団・個人・討論・模擬授業等)	(事前申し込みあり) 詳細は、教職教育センター窓口 及び掲示もしくは、HPにてお知らせ
		5時	5時	4回生対象教員採用(幼稚園含む)特別対策講座 園遊工作・音楽実技・小論文・体育実技	"
	7月	6日(水)	4限 14:40~16:10	4回生対象 教員採用試験対策講座 面接実践編	模擬面接・集団討論 自己PR・志望動機・現場での課題等
		13日(水)	5限 16:10~17:50	4回生対象 教員採用試験対策講座 特別支援教育編	採用試験で押さえておくポイントについて 講義
		27日(水)	4・5限 14:40~17:50	4回生対象 教員採用試験対策講座 二次面接編	模擬面接(個人)・集団討論・模擬面接対策等 講義及び実技 二次試験対策
	8月	5時	5時	4回生対象 面接・グループワーク練習 (個人・模擬授業・場面設定・討論等)	模擬面接・模擬授業・集団討論対策 (一次試験合格者対象)

平成 23 年度「教職教育センター行事」について

カテゴリ	月	日(曜)	時間	行事名	内 容	
教師免許説明会	5月	10日(火)	昼休 12:15～12:55	3・4回生対象 大阪市教員養成講座説明会	大阪市教育委員会担当講師による説明	
		13日(金)	昼休 12:15～12:55	3・4回生対象 堺・教師ゆめ塾説明会	堺市教育委員会担当講師による説明	
		17日(火)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 大阪教志セミナー説明会	大阪府教育委員会担当講師による説明	
		24日(火)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 ティア・ティーチャー・プログラム説明会	奈良県教育委員会担当講師による説明	
3回生対象 オリエンテーション(対策等)	5月	12日(水)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	学習方法・情報収集について 幼稚園を除く全校履	
		20日(金)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 幼稚園オリエンテーション 幼稚園教員を目指すにあたって	学習方法・情報収集について (私立幼稚園を含む)	
		31日(火)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって(土曜日)	5/2(水)予備 (主)開講しないこともあります。	
	6月	3日(金)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 幼稚園オリエンテーション 幼稚園教員を目指すにあたって(土曜日)	5/2(水)予備 (主)開講しないこともあります。	
		5日(日)	5限 14:20～17:20	3回生対象 教職オリエンテーション 教員採用試験対策	秋から始める勉強について 教員採用試験対策(4回生との交流)	
	10月	19日(水)	4限 14:40～16:10	3回生対象 幼稚園オリエンテーション 筆跡試験対策を中心に (私立幼稚園含む)	次年度の幼稚園教員採用試験に向けての学習対策 外部講師による講演	
		16日(水)	4限 14:40～16:10	3回生対象 教職オリエンテーション 筆跡試験対策を中心に (小・中・高・特支・政令指定都市の幼)	教員採用試験の傾向と対策 次年度の採用試験に向けて、外部講師による講演	
	11月	30日(水)	4限 14:40～16:10	3回生対象 幼稚園オリエンテーション 幼稚園教員採用試験対策	秋から始める勉強について 教員採用試験対策(4回生との交流)	
		11日(水)	昼休 12:15～12:55	3回生対象 教職オリエンテーション 教員採用試験情報 一般教養・教職対策対策を中心に	次年度の教員採用試験に向けてのワンポイントアドバイス 外部講師による講演 (有料講座の説明を含む)	
	2～3月	詳細は後日決定	3回生対象 教職・幼稚園オリエンテーション 教員・幼稚園教員の勉学と採用試験について	卒業生との懇話会 有料講座の日程に併せて実施		
	2回生対象 オリエンテーション	6月	7日(火)	昼休 12:15～12:55	2回生対象 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	勉強の進め方 質実の向上について 講義
			17日(金)	昼休 12:15～12:55	2回生対象 幼稚園オリエンテーション 幼稚園教員を目指すにあたって	勉強の進め方 質実の向上について 講義
11月		11日(金)	昼休 12:15～12:55	2回生対象 幼稚園オリエンテーション 幼稚園教員を目指すにあたって	幼稚園教員希望者対象 勉強の進捗チェックおよび質実の向上について	
		18日(水)	昼休 12:15～12:55	2回生対象 教職オリエンテーション 教職を目指すにあたって	小・中・高・特支 勉強の進捗チェックおよび質実の向上について	
教師のお仕事入門	6月	詳細は後日決定	1回生対象 教師のお仕事入門(小学校)	振興見学の児童との交流 グループに分かれて 教室を訪問		
	9月	詳細は後日決定	1回生対象 教師のお仕事入門(小学校・小中学校・高等学校)			
	2～3月	詳細は後日決定	1回生対象 教師のお仕事入門(小・中学校・高等学校)			
ボランティア学生	4月	26日(火)	5限 16:20～17:20	学校支援学生ボランティア説明会・研修会	23年度にボランティア活動を行う予定の学生対象	
	2月	10日(金)	2限 10:40～12:10	学校支援学生ボランティア修了式	23年度にボランティア登録をし、活動を行った学生対象	
模擬試験	4月	9日(土)	9:30～13:20	有料 教職模試(出題:時事通信社)	幼・小・中・高・特支 教職教養、一般教養、専門教養、論作文	
		16日(土)	9:30～12:50	有料 教養模試(出題:東京アカデミー)	小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養	
	5月	7日(土)	9:30～13:20	有料 教職模試(出題:時事通信社)	幼・小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養、論作文	
		14日(土)	10:00～16:20	有料 教養模試(出題:東京アカデミー)	幼・小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養	
	6月	4日(土)	9:30～13:20	有料 教職模試(出題:時事通信社)	幼・小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養、論作文	
	12月	10日(土)	9:30～13:20	有料 教職模試(出題:時事通信社)	幼・小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養、(論作文)	
	1月	15日(日)	9:30～12:50	無料 教養模試(出題:東京アカデミー)	小・中・高・特支 教職・一般教養、専門教養	
有料対策講座	7月	18日(水)	昼休 12:15～12:55	有料講座案内のための説明会	長期休業中開催の有料講座の募集案内	
	8～9月	詳細は後日決定	有料講座 一般教養コース	時事通信社・東京アカデミー担当講師による講義 次年度以降の採用試験に向けての学習対策		
	2～3月	詳細は後日決定	有料講座 教職教養・専門教養各コース (小学校・中高国語・中高英語・中高社会・中高保健)	〃		

\*使用する教室につきましては、掲載値でお知らせします。日程や時間等が変更になることもありますので、教室とあわせて確認をお願いします。

## 【事業報告】

# 「実践アクセス講座」（公開授業）に取り組んで

徳田喜代士\*

## 1. はじめに

教職教育センターでは、教員免許状を取得するための指導・支援だけでなく、教員に「なりたい」学生が、教員として教育現場で活躍できるための資質能力の向上をめざし、様々な取り組み・支援を行っている。

その一つとして、キャリア教育科目としての「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」の授業がある。この授業の大きな柱の一つが、教育現場の先生方、教育行政に携わっておられる方々をゲストティーチャーとして招聘し、その豊かな体験や実践から直接学ぶことができる「実践アクセス講座」である。

「実践アクセス講座」は、「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」だけでなく、「総合的学習の研究」「教職研究」においても、貴重な現場実践を学べる機会として位置づけている。

また、「実践アクセス講座」は、「公開授業」として教育福祉学部の学生だけでなく広く教員をめざす全学部生に参加を呼びかけ実施している。

本年度も、以下のとおり「実践アクセス講座」を「公開授業」として位置づけ、全学部生に呼びかけ実施した。「実践アクセス講座」の目的と意義、本年度の実施概要、その成果と今後の課題について報告する。

## 2. 「実践アクセス講座」の目的と意義

「実践アクセス講座」は、今求められている実践的指導力の基礎を培うことをめざし、「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」の大きな柱として、また、ますます重要となる「生きる力」を育てる基盤となる「総合的学習の研究」および、教職についての基礎・基本を学ぶ「教職研究」において実施している。

「実践アクセス講座」は、日々、懸命に取り組んでおられる現場の先生方の実践、教育行政の方々の取り組みが、直接学べる場である。その中で、受講生は、子どもたち、そして、教育

---

\*大阪大谷大学教職教育センター担当教授

「実践アクセス講座」(公開授業)に取り組んで

現場の現実に学び、そこから今日の教育課題を感じとり、教職をめざす自己の生き方を見つめ直し、教員として生きる生き方の厳しさと喜びを感じとることができる。

まさに「実践アクセス講座」は、教員としての資質能力・実践的指導力の基礎・基盤を培うことができる貴重な場であると言って過言ではない。

### 3. 平成23年度「実践アクセス講座」の概要及び感想

本年度も大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、そして、近隣の教育委員会、小・中学校に協力を得て、指導主事の方々、校長先生、現場の先生方をゲストティーチャーとして招聘し、豊かな体験や実践に基づく貴重な講演をしていただいた。いずれの講演も、子どもに対する深い愛情、熱い思いの溢れるものであり、教職をめざす学生の心を深く揺さぶるものであった。

以下は、その概要と受講生の感想である。

#### (1) 実施概要

##### a. 「学校教育演習Ⅰ」(実践アクセス講座)の概要

回	日 時・テーマ	講 師	内 容
①	平成23年10月7日(金) 4限 子ども理解と学校の諸課題	井上 序子 先生 (大阪市教育委員会 指導部 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー)	子どもを取り巻く現実、学校における諸課題、その中で子ども理解の基本、支援の在り方について学ぶ。
②	平成23年10月14日(金) 4限 学級づくりの実践	杉中 康平 先生 (堺市教育委員会 教育センター 指導主事)	学級づくりで担任が大切にすべきことを、自らの新卒教員時代の体験も交えて、熱く語っていただく。
③	平成23年11月18日(金) 4限 国語の授業とその実際	山本 章 先生 (大阪狭山市教育委員会授業づくりアドバイザー)	言葉の力をつけるための専門教科である国語科の授業の在り方について、具体的に指導していただく。
④	平成24年1月20日(金) 4限 教員をめざすにあたって	石田 要 先生 (堺市教育委員会 ゆめ塾)	学校現場が求める教員像、教採を受験する学生に、今、望むこと等を、具体的事例とともに話していただく。

##### b. 「学校教育演習Ⅱ」(実践アクセス講座)の概要

回	日 時・テーマ	講 師	内 容
①	平成23年4月22日(金) 4限 教職をめざすにあたって	松本 康克 先生 (大阪市立丸山小学校 校長)	教員としての喜び、若手教員の悩みと、今、心掛けておきたいこと等、具体例を通して話していただく。



「実践アクセス講座」（公開授業）に取り組んで

②	平成 23 年 5 月 6 日（金） 4 限 学力向上について	榊田 千佳 先生 (大阪府教育委員会 市町村教 育室 小中学校課 学力向上グ ループ 主任指導主事)	全国学力・学習状況調査を踏まえ、 今、子どもたちにつけたい「学力」 について話していただく。
③	平成 23 年 5 月 13 日（金） 4 限 生徒指導について ～子ど もと向かい合うために～	宮瀧秀一郎 先生 (大阪府教育委員会 市町村教 育室 児童生徒支援課 生徒指 導グループ 主任指導主事)	大阪府における子どもたちの現状を 踏まえ、生徒指導の基盤となる児童 生徒理解の重要性について、話して いただく。
④	平成 23 年 5 月 20 日（金） 4 限 心の窓を少し拓いて～これ からの同和教育・人権教育～	明石 一朗 先生 (貝塚市立東小学校 校長)	人権意識と行動を確かなものにする 人々との豊かな出会い、暮らしを見 つめ、事実と真実を正しく学ぶこと の重要性を学ぶ。
⑤	平成 23 年 5 月 27 日（金） 4 限 特別支援教育について～と もに学び、ともに育つ～	川戸 明子 先生 (大阪府教育センター 授業力 向上指導員)	特別支援教育の理念、子ども理解と 支援の基礎、その中で、教師に、 今、求められているものについて話 していただく。
⑥	平成 23 年 6 月 10 日（金） 4 限 教職をめざすにあたって大 切にしたいこと	墨村未来士 先生 (羽曳野市立羽曳野中学校 校 長)	学校の意義、果たす役割、そのこと を踏まえ、教員をめざし、今、何を なすべきかについて話していただ く。

c. 「総合的学習の研究」（実践アクセス講座）の概要

回	日 時・テーマ	講 師	内 容
①	平成 23 年 10 月 14 日（金） 3 限 小学校における総合的な学 習の実践	松村 弘治 先生 (富田林市立錦郡小学校 校長)	「子ども商人」の取り組みを中心と した地域と結びついた総合的な学 習の重要性と可能性に学ぶ。
②	平成 23 年 11 月 4 日（金） 3 限 小学校における総合的な学 習の実践	矢野 智史 先生 (松原市立布忍小学校 教諭)	自分自身を見つめ、学級集団づくり の課題と深く結びついた総合的な 学習の大切さとその在り方に学ぶ。
③	平成 23 年 11 月 18 日（金） 3 限 中学校における総合的な学 習の実践	松岡日出雄 先生 (松原市立松原第三中学校 教 諭)	人間関係スキルを高める学習等、自 他の人権を守るための実践的行動に 結びついた総合的な学習に学ぶ。

d. 「教職研究」（実践アクセス講座）の概要

回	日 時・テーマ	講 師	内 容
①	平成 23 年 6 月 20 日（月） 1 限 中学校における生徒指導に ついて	坂本 由美 先生 (河内長野市教育委員会 指導 主事)	配慮すべき生徒に対する生徒同士の 関わり方を中心に、学級経営の視点 も踏まえた生徒指導の在り方に学 ぶ。

## (2) 「実践アクセス講座」(公開授業)に参加しての感想より

以下は、「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」の公開授業に、年間を通して、参加していた教育福祉学部1回生の公開授業を受講しての感想である。

私が掲示板で公開授業があると知ったとき、「行きたい」と思った。現場に携わる先生方や教育委員会の方がお話し下さる、ということで、生の声が聞ける点が嬉しかった。また、生の声を普段の学びに生かしたいと思った。

いきなり上級生と混じって授業を受けるのは緊張したが、上級生や担当の先生方が補助してくださったので、スムーズに授業に参加することができた。

講座の内容のことだが、「国語の授業とその実際」が一番印象に残った。第1に言葉について知ることができたことだ。・・・(略)・・・。第2に、「文字の音(一音)を表現してみよう」をやってみたことだ。・・・(略)・・・。第3に、先生に求められる「5者」を知ったことだ。・・・(略)・・・。

この講座を通して、国語は誰でも関係していて、楽しく学ぶことができることが分かった。

学校には教師以外の多くの職種の方が関わっている。個人的には、そういった方々の学校の視点を知りたいと考えている。

公開授業は、全学部、全回生に開かれている。「教員になりたい」という思いを抱いて入学してきた1回生の「志」を早い時期から高めることは、極めて大切なことである。また、上級生とともに授業に参加することにより、「志」はより確かな、地についたものとして、引き継がれることになる。何よりも「生」の声が、受講生の心を強く深く揺さぶることをあらためて感じた。

## 4. 「実践アクセス講座」の成果と課題

### (1) 成果

#### ①教職に対する意識の高揚

「実践アクセス講座」では、ゲストティーチャーの方々に、現在の子どもたちを取り巻く状況、課題、課題克服に向け取り組まれる実践、その中での苦悩と喜びを、自らの体験・実践を通して熱く話していただいた。それは、教職を目指すものとしての自己の姿勢を問い直し、自己の課題を見つめ、教職への思いを確かなものとし、自らの資質能力を高めようとする意識につながっている。「実践アクセス講座」の受講を機に、学校支援学生ボランティアへの参加を希望する学生も多い。この結果こそ大切にしたい。

## 「実践アクセス講座」(公開授業)に取り組んで

### ②今日的課題への対応

「実践アクセス講座」を通して、今日的な教育課題であり、また普遍的な教育課題でもある「児童生徒理解」、「学力向上」、「生徒指導」、「人権教育」、「特別支援教育」の現状と課題等について、具体的な取り組み・実践事例を通して学ぶことができた。ゲストティーチャーのより深い子ども理解に基づく、そして、より確かな経験に基づく講演は、受講生にとって、課題解決に向けての大きな指針となった。

### ③組織の一員として仕事ができる力の育成

「実践アクセス講座」のゲストティーチャーの方々がどなたも強調されるのは、学校が組織として、一体となって取り組むことの大切さであり、地域・保護者の方とともに歩むことの大切さである。「チーム」として動く、「チーム」として仕事をするものの必要性、重要性を生きた実践を通じて学ぶことができた。

### ④教育行政・教育現場との連携の強化・拡大

「実践アクセス講座」の実施を通じて、ゲストティーチャーとして協力をいただいた教育委員会、学校現場との連携を一層広め深めることができた。その結果、本学の教員が、教育行政の研修の場や校内研究会の講師として学校現場に招かれることも増え、双方向の連携が進んだ。

## (2) 今後の課題

### ①「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」の受講者数の増加

「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」に位置付けられた「実践アクセス講座」は、教職をめざす学生にとって得るところが大きいですが、選択科目・キャリア教育科目でもあり、必修科目の履修の関係上、受講者数が少ない。受講呼びかけを更に積極的に行うとともに、受講できるための工夫に取り組む必要がある。

### ②「実践アクセス講座」の周知徹底

「実践アクセス講座」は「公開授業」として、広く受講生以外の聴講を呼びかけたが、周知徹底には至らなかった。次年度は、周知方法の一層の工夫を行い、聴講生を増やしたい。

### ③ゲストティーチャーの拡大

ゲストティーチャーには、教育行政、学校現場の先生方を講師として招聘した。その成果を引き継ぐとともに、次年度は、保護者・地域の方の子どもたち、学校や地域に対する思いや願いに学ぶ学習を計画する必要がある。

## 5. おわりに

「実践アクセス講座」は、教職教育センターの開設とともに、センターの教員採用試験に向けた「対策」事業の1つとして出発している。正に、「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」と「実践アクセス講座」は、教員採用試験への「対策」をその源としているが、本稿で報告させていただいたように、教員としての資質能力の「養成」機能として、貢献することができたと考える。

また、2010年4月入学者より、教職課程を履修する学生には、「教職に関する科目」の一つとして「教職実践演習」(必修)が新設された。この「教職実践演習」は、「学校教育演習Ⅰ」「学校教育演習Ⅱ」と「実践アクセス講座」の取り組みと連動するとともに、重なる内容も多い。2013年からの本格的な実施に向けての大きな力となるものと期待される。

次年度から本学は、教育福祉学部が教育学部として、また、人間社会学部は、新たな学科、コースを設けて出発する。「教員になりたい」学生の意識がより高揚するためにも、「実践アクセス講座」の更なる充実、発展に向けて取り組んでいきたい。何よりも、「教員になりたい」学生の教員としての資質能力の向上、実践的な指導力の向上をめざして。

【事業報告】

## 教師のお仕事入門 (小学校・中学校・高等学校体験)

宇野 佳子\*

### 1. 目 的

- 小学校・中学校・高等学校を訪問し、学校現場の様子を知る。
- 児童・生徒との交流を深める。

### 2. 対 象

- 文学部（日本語日本文学科、英米語学科、文化財学科）・教育福祉学部教育福祉学科  
人間社会学部人間社会学科の1回生

### 3. 内容（場所・年月日・参加者数）

- 小学校 ・ ・ ・ ・ ・ 富田林市立錦郡小学校  
第1回 平成23年6月8日（水） ・ ・ ・ 26名  
第2回 平成23年6月22日（水） ・ ・ ・ 38名  
第3回 平成23年9月9日（金） ・ ・ ・ 24名



於：錦郡小学校

---

\*大阪大谷大学教職教育センター担当教授

教師のお仕事入門（小学校・中学校・高等学校体験）

- 中学校・小学校・・・堺市立さつき野中学校  
堺市立さつき野小学校

前期 平成23年9月8日（木）・・・20名  
後期 平成24年2月24日（金）・・・8名

- 高等学校・・・大阪府立河南高等学校  
前期 平成23年9月15日（木）・・・9名  
後期 平成24年2月14日（火）・・・8名



於：さつきの中学校

※事前指導（今回より実施）

平成24年2月3日（金）昼食時

後期中・高等学校希望者 参加者11名



於：河南高等学校

#### 4. 実施概要

- 小学校では・・・

授業の参観だけでなく、給食・そうじ・遊び等を通じて児童と交流することで、児童との距離が近づいた。その後、校長先生から錦郡小学校の取組み・児童の様子等を話していただいた。

終わりには、毎回必ず参加者全員が当日の感想を発表し合う場を持った。

それは、教員になりたいという思いを共有し合う、とてもよい機会となった。

- 中学校では・・・

3・4時限の授業を参観させていただいた。校長・教頭先生から、小中一貫教育の取組みのようすや教員としての喜びなどを話していただいた。平成23年3月にさつき野小・中学校の連絡橋が完成し、小中一貫校としてのハードの面が整った。参加者全員でその新しい連絡橋を渡り、午後からは堺市立さつき野小学校の授業も参観させていただいた。

- 高等学校では・・・

3・4時限の授業を参観させていただき、授業に対する取組みや工夫を知ることができた。また、前期では文化祭前の雰囲気も体験でき、行事を通して教員としての視点を磨くことができた。まとめの場面では、前・後期共全員が一言ずつ感想を発表し充実した時間が持てた。

今回の参加者は、全員中学校にも参加し、中・高を両方体験することで将来の各自の進路選択を考える一助になったと思われる。

## 5. 参加学生の感想より

- ・「3回目で学校の雰囲気にもなれてきた。学校に行けば行くほど発見がある。」
- ・「改めて、教師という仕事は大変で責任のある仕事だなと思った。」
- ・「先生がすごく熱心で、大きな声ではきはきとされていて、私もまねをしたくなった。」
- ・「中学校の先生になりたいが、小学校も見学させてもらい少し迷っています。」
- ・「生徒ではない立場から学校の様子を知れて、よかった。」
- ・「中学校・小学校の授業体験ができて、すごくいい経験になった。」
- ・「教えることのむずかしさやコミュニケーションをとることの大切さを学んだ。」
- ・「昼食を中学校の生徒と食べ、午後からは小学校の理科の授業を見学した。」

## 6. 成 果

教員になりたいという思いを持って入学してきた学生が、1回生という早い段階で、学校現場を訪問することの意義を改めて感じた。学生は、具体的に「学校現場を知る」「子どもを知る」という体験を通して、教員になりたいという夢の実現をめざし、目的意識を持って大学生活を送ることの大切さを再確認してくれたと思う。それは、何よりも参加した学生が、きりっとした姿勢で学校を訪問し、いきいきと児童・生徒と交流する姿や、去りがたく児童・生徒と別れを惜しむ姿にも表れていた。

小学校・中学校・高等学校の複数校種に参加する学生も増えてきた。自己の進路選択へ向け、いろいろな校種を体験することで、成長過程における子どもの姿や学校の雰囲気の違いを感じ取り、比較しながら将来を考え、教員をめざそうとする気持ちを一層強く持ったように思う。

「教師のお仕事入門」に参加した多くの学生が、その後「インターンシップⅠ」・「学校支援学生ボランティア」等の活動体験にも参加している。教員を目指す学生に取っては、教育実習前の取り組みとしてとても意義深いものになっている。

## 7. 課 題

小学校は、6月に2回（大学の課業期間中）実施した。大学の講義がない時間帯を選び近隣の小学校ということもあり、多数の参加者があった。しかし、課業期間中は訪問時間が短くじっくり見学・交流できないという課題を残した。そこで、3回目は大学の夏期休業を利用し、

教師のお仕事入門（小学校・中学校・高等学校体験）

給食と参観授業の時間を増していただくことで改善できた。

中学校・高等学校は、長期休暇を利用し実施している。中学校では、後期の参加者が少なかったため、今後、学生への周知方法を工夫する必要がある。また、中学校・高等学校共に、前期は参加学生の専門教科に偏りがあり、その為受入れ中学・高校共時間割の調整が必要になった。



大阪大谷大学教職教育センター紀要  
第3号

2012年3月10日発行

編集発行 大阪大谷大学教職教育センター  
〒584-8540 大阪府富田林市錦織北3丁目11-1  
電話 (0721) 24-9891